

おの 100 での学びを振り返って

私は、第 3 回おの 100、第 4 回おの 100 に学生ボランティアとして参加させて頂きました。私は、この事業を通じて本当に多くの事に気づき、学び、そして人間的に成長する事ができました。これも全て、柿本さん、学生ボランティアの皆さん、子ども達、おの 100 を支えて下さった地域の皆さんのお陰であります。本当にどうもありがとうございました。

おの 100 では多くの学びがあり、何を書こうか迷ってしまいますが、私が最も悩み、最も真剣であった、おのみち 100km 徒歩の旅における学生ボランティア募集活動について書こうと思います。

第 4 回おの 100 の開催において、参加する子ども達をサポートする学生ボランティアを最低でも 50 人集める必要がありました。逆に言えば、50 人以上の学生ボランティアが集まらなければ、第 4 回おの 100 を開催する事ができないという事でありました。私は、第 4 回おの 100 を楽しみにしている子ども達のためにも何とかしてこの問題を解決したい、お世話になった柿本さんの力に少しでもなりたいたと思いました。

私の大学である尾道大学での学生ボランティア募集の目標は、20 人~30 人でありました。尾道大学から第 3 回おの 100 に学生ボランティアとして参加した学生は、8 人であったので、「第 4 回おの 100 に参加したいという尾道大学の学生がいるのだろうか？本当に集まるのだろうか？」と不安や心配がありました。しかしながら何としても第 4 回おの 100 を開催したかったので、学生ボランティアを集めるためにとことん努力をしました。尾道大学の先生方の研究室を訪問して、学生ボランティア募集の協力を依頼したり、休み時間に休憩している学生におの 100 のビラを配り、おの 100 について説明したり、尾道大学のオリエンテーションで全学年の学生にビラを配ったりしました。その際に第 3 回おの 100 の学生ボランティアであるハッスル、あっきー、まるっち、イッペイ、池ちゃん、キーパーに手伝ってもらいました。

しかし、「果たして本当に学生が集まるのだろうか？」という不安や心配がありました。そ

んな時にイッペイが、大学の先生の許可をとり、新一年生対象の教員説明会で、おの 100 の学生ボランティア募集のためのプレゼンテーションをするチャンスをつくってくれました。プレゼンテーションを準備する時間がほとんどなく、ほぼぶっつけ本番でありましたが、ハッスル、あっきー、池ちゃんのお陰でなんとかプレゼンテーションが出来ました。

しかしながらそれでも「本当に学生が集まるのだろうか？」という不安や心配がありました。その不安や心配はすぐに吹き飛ばされました。本当に多くの学生がエントリーしてくれました。そして第 4 回おの 100 は無事開催され、さらには、参加者全員が無事完歩する事が出来て本当に嬉しかったです。

本気になる楽しさ、真剣になる楽しさ、同じ世代の仲間達と一つの目標に向かって、お互いに切磋琢磨に競い合い、励まし合いながら使命感を持って取組む楽しさ、おの 100 には、責任のある楽しさがありました。

私は、この四月から石川県にある国立大学法人 北陸先端科学技術大学院大学という大学院に進学します。しっかりと学んで、しっかりと研究して、おの 100 の事業趣旨である 青少年健全育成（体験学習） 生涯学習（やりがい・生きがいの創造） 市民参加の人づくり 地域コミュニティの活性化の促進に少しでも貢献できる、人に良い影響を与え、与えられた環境をより良い方向に導く事が出来る責任ある大人になりたいと思います。

これから先、どんなに困難で挫けそうな事があっても、有形・無形のものに絶えず感謝し、とらわれず、子ども達のような素直な心を持ち、謙虚に積極的に本気になって、道を拓いていこうと思います。

“ We can ! We can ! We can do it ! (できる！できる！必ずできる！)”

“ 熱く 熱く 一度限りの人生を本気で生きていきたい！ ”